

事業コード	H17-建-新-9		区 分	国庫補助	県単独
事業名	特定交通安全施設等整備事業(道の駅)		部局課室名	建設交通部 道路環境課	
事業種別	簡易パーキング		班 名	道路環境推進班 (tel) 018-860-2488	
路線名等	一般国道108号		担当課長名	虻川 憲悦	
箇所名	由利本荘市西滝沢		担当者名	渡辺 博	
総合計画との関連	政策コード	U	政 策 名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備	
	施策コード	04	施 策 名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備	
	指標コード	04	施策目標(指標)名	道の駅整備箇所数	

1. 事業の概要

事業期間	H18 ~ H20 (3年)		総事業費	3.2億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	道の駅 A = 4,500㎡(駐車スペース、道路情報提供施設、進入路等)						
事業の立案に至る背景	一般国道108号は宮城県石巻市と秋田県由利本荘市(日本荘市)を結び、日交通量9,000台の主要幹線道路である。また、当地区(旧由利町)は鳥海山の裾野に広がる仁賀保・由利高原への玄関口でもあることから、観光目的の車輛が頻繁に訪れている。しかしながら、沿線には相当区間にわたり休憩施設・道路情報提供施設が無い状況にあるため、夜間運転・疲労運転による交通事故の発生や、道路情報等の不案内による渋滞等の発生が懸念される。こうした折、廃校小学校跡地に国による西滝沢地区水辺プラザ(川の駅)の整備計画が立案されたことから、この事業と道の駅整備事業を協働して実施することにより、地域活性化の活動拠点が整備されるものである。						
事業目的	1. 夜間運転・疲労運転を防止するための休憩施設の整備 2. ウロウロ運転の発生を防止し、渋滞等の発生を抑制する道路情報提供装置の整備						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度以降
	事業費		320,000	70,000	130,000	120,000	
	経費内訳	工事費	240,000		120,000	120,000	
		用補費	70,000	60,000	10,000		
		その他	10,000	10,000			
	財源内訳	国庫補助	160,000	35,000	65,000	60,000	
		県 債	64,000	14,000	26,000	24,000	
その他							
一般財源		96,000	21,000	39,000	36,000		
事業内容		道の駅	詳細設計 用地補償	道の駅	道の駅		
調査経緯	なし						
上位計画での位置付け	総合計画における施策「地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備」を支援する事業						
関連プロジェクト等	西滝沢地区水辺プラザ[川の駅](国土交通省)						
事業を取り巻く情勢の変化	国道108号沿線には整備予定地の前後約20kmにわたり、情報提供・休憩施設が無く空白地帯となっており、この区間の道路交通上の安全を早急に確保する必要がある。						
事業効率把握の手法	指標名	道の駅整備数					
	指標式	整備数/整備目標数(平成22年度)					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	27 箇所		データ等の出典	特になし		
	達成値 b	25 箇所					
達成率 b/a	92 %		把握の時期	平成17年 3月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量が5,000台 / 日以上あり (9,002台 / 日H11センサス) ・既存の道の駅から20km以上距離がある。 	20 点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ・関連事業である西滝沢地区水辺プラザ整備事業と共同することで地域活性化にも支援できる。 ・市町村合併後に広域となる由利本荘市圏域の移動を安全なものにしつつ、旧由利町のにぎわいを保持することができる。 	30 点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路情報はもとより観光情報を提供することにより地元観光施設へのアクセスが容易になり、長距離移動車輛の休憩施設として機能することにより、沿線におけるドライバーの疲労に起因する交通事故の減少につながる。 	20 点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度の供用を予定しており、早期の効果出現が可能である。 	10 点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関 (国土交通省・県・由利本荘市) 相互は既に調整済みである。 	15 点
判 定	ランク ()	95 点
	全観点で高い得点となっており、ドライバーへの道路情報・休憩施設を提供することによる交通事故の発生抑制と併設する地域振興施設による地域活性化に支援することのできる事業箇所であり、実施すべきであると考え。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定	改善して選定	保留
休息や道路情報提供等の機能を、同一路線の既存施設や由利本荘市の施設で代替できないか、十分に検討すべきである。また、本県には、25カ所の道の駅が設置されており、概ね、各圏域ごとに行きわたっている。今後は、平成19年に開催される秋田国体も見据え、既存の道の駅における機能の充実・強化に努めるなど、施策のあり方を転換すべきである。			

4. 財政課長意見

意見内容	選定	改善して選定	保留
道の駅の新規整備については、交通量、道路情報の提供の観点に加え、観光や地域振興の観点からもどのような箇所について整備していくのか、今後検討を行うべきものである。当該施設については、本荘地域市街地から近いことや、周辺民間施設の状況、市建設予定の施設との関連等について考慮して、再度検討すべきである。			

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	選定	改善して選定	保留
当該地への道の駅整備の必要性を含め、国、市その他関係機関との十分な調整が必要である。			

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

--

7. 公共事業評価専門委員会意見

--

評価種別 新規箇所評価
 適用基準名 交通安全事業（簡易パーキング）

事業コード(H17-建-新-9)
 箇所名 (由利本荘市西滝沢)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性 交通量	5,000台/日以上	10	10	
		1,000台/日以上	5		
		500台/日未満	1		
	既存「道の駅」との距離	20km以上	10	10	
		10~20km	5		
		5km未満	1		
計			20	20	
緊急性	関連事業の有無	有り	10	10	
		無し	0		
	市町村合併支援	有り	10	10	
		無し	0		
	上位計画の位置づけ	有り	10	10	
		無し	0		
計			30	30	
有効性	期待される具体的効果 道路情報	有り	5	5	
		無し	0		
	利用者の安全性の向上 ・事故の軽減	有り	10	10	
		無し	0		
	地元観光施設へのアクセス	改善される	10	5	
		おおむね改善される	5		
改善の見込み無し	0				
計			25	20	
効率性	供用開始までの期日	5年以内に供用開始可能であり効果の出現が早い	10	10	
		供用開始まで6年から7年の時間を要する	5		
		供用開始まで8年以上と相当時間を要する	1		
		計	10		
熟度	関係機関との協議・調整	調整済み	10	10	
		おおむね調整されている	5		
		未調整	1		
	地元の協力体制	事業に協力的、要望書提出済み	5	5	
		事業に協力的、要望書は未提出	3		
		要望書未提出、用地反対あり	1		
計			15	15	
合計			100	95	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		